

平成25年度 明倫小学校 第3回 学校関係者評価委員会

平成26年1月29日（水）開催

■学校関係者評価委員

梅地 信吾	元明倫小学校長	元児童相談所相談員
富川 芳人	元県PTA連合会会長	元明倫小学校PTA会長
村田 明美	萩市児童クラブ指導者	萩市人権擁護委員
三上智奈美	元明倫小学校PTA副会長	主任児童委員
岩崎喜一郎	明倫小学校PTA顧問	(※欠席)
大嶋 栄	明倫小学校PTA会長	
柳林 浩一	明倫小学校	校長
宇田川明恵	明倫小学校	教頭
矢野 憲文	明倫小学校	教頭

■学校評価（後期）について ～主な意見～

○特色ある学校づくり「松陰教学の推進」

- ・2学期の行事や教科、道徳等と関連づけながら取り組んできた。日々の朗唱だけに終始することなく、教員が意識して教育活動の中へ充実させていきたい。

○特色ある学校づくり「積極的な情報発信」

- ・学級だよりが全クラスで配付され、児童の様子がよく伝わっている。今後は指導していることなど、担任の思いもしっかりと保護者に伝えることが大切である。
- ・「明倫の風」（校長室だより）では、校長が気が付いた児童の様子などを文章に書かれ、その内容にいつも感動している。

○学力の向上「家庭学習の充実」

- ・家庭での勉強の仕方を教えていくのも教師の仕事。全員に定着させたい学習は宿題で、それ以外は子どもに合った内容で、自分で進められるように指導が必要である。
- ・計画を立てて自学に取り組むことが大切。例えば一週間の自学メニューを考え、計画的に学習していく習慣をつけることは、中学校へ進学してから特に必要となる。

○学力の向上「高め合う活動の充実」

- ・「書いてかかわり合う」活動を全教員で共通理解して取り組み、成果が表れてきている。今後は内容面に工夫改善が求められる。

○心の教育の充実「明倫小A あいさつ」

- ・2学期はあいさつがよくなってきたが、3学期は寒さのせいもあり意識が下がっている。教職員が児童に働きかけるとともに、児童の自主的な活動を大切にしたい。

○心の教育の充実「明倫小B 無言清掃」

- ・掃除の手順や仕方を、児童に指導していくことが大切である。

○心の教育の充実「明倫小C 自ら主体的に取り組む活動」

- ・代表委員会で決めるなど、児童の主体的な活動として明倫小ABCに取り組むことはとてもよい。教師が言うだけより、児童がみんなで考えて実行するほうが長続きする。
- ・「一日一善」の児童の取組を、学校と児童クラブが共有して互いに児童を誉める話題になっている。

○安心・安全な環境づくり「配慮を等する児童への対応」

- ・いじめが起こった時にそれぞれの保護者に連絡をとっていると思うが、細かい事案についても大きくなるようにしっかり解決してほしい。
- ・いじめにつながる事案の早期発見・早期解決、保護者からの相談窓口等、明倫小の基本方針を保護者に明示していきたい。

○安心・安全な環境づくり「安全な登下校」

- ・自転車による小さな接触事故が数件あった。自転車も加害者になることを児童に意識させ、機会あるごとに指導したい。
- ・自転車の交通ルールが変わったことをしっかり押さえておいてほしい。

○業務改善「会議の時間短縮」「勤務状況の改善」

- ・来年度から新校舎となって一つの職員室になり、教職員の情報共有や情報交換がしやすくなる。会議等の時間を短縮することにもつながる。

○その他

- ・いじめに対する学校評価アンケートをとっているのでも、評価基準へ入れ込むとよい。
- ・学校評価の保護者からの回収率が高い。協力体制ができているが、提出物をきちんと出す指導も学校でしてもらっていて助かる。
- ・学年に4学級あるので、学習方法など担任同士が互いに学年で話題に取り上げ、教師が意識して改善していくことができる（明倫小のよさ）。
- ・学校評価の達成度は高くなっているが、数値に表れていない部分も大切にしてほしい。

